

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんなと なかよくするって？	4 月 (2)	(内容項目を限定しない) 1 どうとくが はじまるよ	道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1 年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、意欲的に道徳科を学んでいこうとする実践意欲を育てる。	★道徳科とは、何をどのように学ぶ時間なのでしょう。 ①教科書 P4・5「どうとくで学ぶ 19 のとびら」を見て、1 年生の道徳科の学習を振り返りながら、道徳科ではどんなことを考えていくのか、改めて理解する。 ②教科書 P6・7「みんなで 気もちよく 話し合うためのこつ」を見て、話し合いをするときに大切な「こつ」について理解する。 ③「みんなで 気もちよく 話し合うためのこつ」を使って、自分がどんなときに「うれしいな。」と思うかについて話し合う。 ④教科書 P8・9「どうとく みちあんない」を見て、これから 1 年間の学びの見通しをもつ。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考え、1 年間の学びの見通しをもち、意欲的に学んでいこうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 1 年生のときの道徳科の学習を思い起こしながら、これからの道徳科の学習を想起し、期待を膨らませている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 道徳科の学習では、自分で考えるだけでなく、みんなで話し合うことで考えが広がったり深まったりすることを感じている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 何を学ぶか、どのように学ぶかを理解し、1 年間の学びの見通しをもって、道徳科を学んでいこうとしている。	
	4 月 (3)	【きそく正しい生活】 A (3) 節度、節制 2 二年生になって	1 年生時と 2 年生時の「かなこ」の生活の様子を比べる活動などを通して、気持ちのよい生活をするために大切なことを考えさせ、わがままをしないで健康や安全に気をつけ、規則正しい生活をしようとする実践意欲を育てる。	★気持ちのよい 生活をするには、どんなことが 大切なのでしょう。 ①2 年生になってできるようになったことはあるかを思い起こし、出し合う。 ②「二年生になって」を読み、1 年生のかなこは、「①」の吹き出しでどんなことを考えたか想像し、発表する。 ③2 年生のかなこが、気持ちよく過ごせているのはどうしてかを考え、話し合う。 ④気持ちのよい生活をするために、どんなことをがんばりたいかを考え、発表する。 ▼気持ちのよい生活をするためにも、けがをしたり、かぜをひいたりしないようにする心構えをもつ。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○わがままをしないで健康や安全に気をつけ、規則正しい生活をしようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分自身の経験を振り返りながら、気持ちのよい生活をするために、がんばりたいことを自分事として考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達と交流し、規則正しい生活をしようとする思いにはさまざまなものがあることを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分自身の経験を振り返りながら、本時に考えた規則正しい生活をするためのよさを、これからの生活に生かそうとしている。	安全教育
	4 月 (4)	【気もちのいいあいさつ】 B (8) 礼儀 3 あいさつ月間	男の子の挨拶についての父との対話から、大切なことに気づく「わたし」の姿などを通して、気持ちのいい挨拶について考えさせ、心を込めた挨拶や言葉遣い、動作などをしようとする心情を育てる。	★「気もちのいいあいさつ」とは、どんなあいさつなのでしょう。 ①自分が「気もちがいい」と思う挨拶を実演して、見せ合う。 ②「あいさつ月間」を読み、男の子の挨拶はどこが「気もちのいいあいさつ」だったかを考え、発表する。 ③お父さんに「声を出すことだけが 大切なのかな。」と言われたとき、「わたし」はどんなことを考えたかを想像し、話し合う。 ④「気もちのいいあいさつ」とは、どのような挨拶なのかを考え、話し合う。 ▼自分は「気もちのいいあいさつ」ができていたかを振り返る。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○相手に伝わる挨拶や言葉遣い、動作などを行うことのよさを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 挨拶や言葉遣い、動作などを行うことの大切さに対するイメージを考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 「気もちのいいあいさつ」についての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分も相手も気持ちよくなる挨拶や言葉遣い、動作をしていこうと考えている。	特別活動(学校行事)

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんなと なかよくするって？	5月 (2)	【きまりをまもって】 C (10) 規則の尊重 4 どうしてきまりがあるのかな	町の様子が描かれている絵などを通して、きまりはどうして守らなければならないかについて考えさせ、きまりをしっかりと守ろうとする判断力を育てる。	★きまりは、どうして まもらなければならないのでしょうか。 ①自分の周りにあるきまりを思い出し、発表する。 ②P18・19 の絵を見て、きまりを守っていない人を探し、その人はどんなきまりを守っていないのかを出し合う。 ③決まりを守っていない人はどうして守らないのかを考え、話し合う。 ④きまりを守らないと、どんなことが起こるのかを考え、話し合う。 ▼信号機が、赤のときや青のとき、青で点滅しているときは、どういう意味なのかを調べる。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○きまりはみんなにとって欠かせないものであり、それを守ることで、みんなが気持ちよく過ごせるということについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 きまりやきまりを守ることのよさについて、自分はどんな考えをもっているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 きまりを守る人や守らない人、また、守っていない人を見る人などのさまざまな立場から、きまりを守ることの意味について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 きまりの意味を捉えたうえで、これからもしっかりときまりを守っていこうという意欲をもっている。	安全教育 法教育
	5月 (3)	【すてきな学校】 C (14) よりよい学校生活、 集団生活の充実 5 しょうかいします	自分の学校を紹介する「わたし」の姿などを通して、自分たちの学校のいいところはどんなところかを考えさせ、学校や学級に愛着をもち、みんなで楽しい生活にしようとする心情を育てる。	★自分たちの学校の「いいところ」は、どんなところでしょう。 ①学校は、自分にとってどんなところかを考え、出し合う。 ②「しょうかいします」を読み、「わたし」は、どんな気持ちで自分の学校を紹介したのかを考え、話し合う。 ③自分の学校で、紹介したい「いいところ」や「気に入っているところ」はどんなところかを考え、話し合う。 ▼学校をもっといいところするために、どんなことができるかを考える。 ④巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○学校生活に関わるものや場所、人々に、親愛の情をもって学校生活を楽しむよさを感じている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分自身の学校生活を振り返り、自分の学校のよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 学校のよさを感じるものや場所、自分たちを支えてくれていると感じる人は、人によってさまざまであり、学校生活を楽しむことのよさについて、さまざまな見方で考えを深めている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の学校のよさを自覚したうえで、学校での生活をさらによいものにしようと考えている。	特別活動(学校行事)
	5月 (4)	じょうほうとむき合う 【してよいこと、いけないこと】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 6 角がついたかいじゅう	友達の作品に勝手に手を加えた「たくみ」の姿などを通して、してよいことか、してはいけないことかを考えるのはどうして大切なのかを考えさせ、善悪を区別し、正しいことをしようとする判断力を育てる。	▼誰かがかいた物や作った物はどう扱えばよいのかを、「角がついたかいじゅう」を通して考えることを確認する。 ★してよいことか、してはいけないことかを考えるのは、どうして大切なのでしょう。 ①してはいけないことと思わずにしまったことはあるかを振り返る。 ②「角がついたかいじゅう」を読み、たくみくんはどんな気持ちでのりおくんの作品に角を付けてしまったのかを考え、発表する。 ③のりおくんの姿を見て、たくみくんはどんなことに気がついたかを想像し、話し合う。 ▼誰かのものを使ったり、誰かがかいたものをまねしたいと思ったりしたときはどうすればいいかを、教科書 P28・29 のコラム「どうして 声をかけるのかな」を読み、考える。 ④巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○してはいけないことをしてしまった後悔とともに、「してよいこと」と「してはいけないこと」を区別することの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分自身の善悪の判断についてのイメージをもっている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の立場から、相手を思いやることのよさや難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 善悪を判断して行動するために、これからどんな気持ちを大切にしていこうかと考えている。	図画工作科 情報モラル 法教育
適宜	★コラム★ <じょうほうとむき合う> どうして 声をかけるのかな A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任／C (10) 規則の尊重					図画工作科 情報モラル

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんなと なかよくするって？	6月 (1)	【友だちとなかよく】 B (9) 友情、信頼 7 けんかをしたけど	泥だんごを巡ってけんかをしたが、その後仲直りした「ぼく」と「しんご」のやり取りなどを通して、友達と仲よくするために大切なことは何かについて考えさせ、けんかをしても、友達と仲直りしようとする判断力を育てる。	★友だちと なかよくするために 大切なことは、何でしょう。 ①友達とけんかをしてしまったとき、どうしているかを振り返り、発表する。 ②「けんかをしたけど」を読み、「わざとじゃないもん！」と言い返したとき、「ぼく」はどんなことを思っていたかを想像し、出し合う。 ③「けんかをしたけど、ぼく、やっぱり——。」とつぶやいたとき、「ぼく」は、どんなことを思っていたかを考え、話し合う。 ④友達と仲よく過ごすためにはどんなことが大切かを考え、話し合う。 ▼けんかをして自分から謝れたことはあるか思い起こす。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○友達とけんかをしても、相手の立場を理解したり、自分の行動を省みたりして仲直りする大切さを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 友達と自分の関わりについて、自分自身の行いを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達との関係性がよいときもよくないときもあることを意識したうえで、友達という存在のよさや大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 友達といっしょに活動して楽しかったことや友達と助け合ってたよかったことなどを思い起こし、友達を大切にしようと考えている。	共生
	適宜	★ここをかわそう★ 友だちと なかよくなるために 自分のことを つたえよう C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実 年間を通して、適宜、「友だちと なかよくなるために 自分のことを つたえよう」を読み、自分のことを伝え合う活動を通して、クラスでの生活を楽しくすることについての意識をもつ。				
	6月 (2)	【自分のよいところ】 A (4) 個性の伸長 8 おり紙の名人 ——よしざわ あきら	大好きな折り紙を研究し続け、折り紙名人となった吉澤章さんの姿などを通して、自分の好きなことやよいところに気づいたらどうするかを考えさせ、長所に気づき、それを伸ばそうとする実践意欲を育てる。	★自分の すきなことや よいところに気づいたら、どうするとよいでしょう。 ①自分のいいところはどんなところだと思うかを振り返り、出し合う。 ②「おり紙の名人——よしざわ あきら」を読み、あきらさんが新しい折り紙を伝え続けたのはどんな気持ちがあったからかを考え、出し合う。 ③自分の好きなことやよいところは何かを、「すきなことやよいところを見つかるヒント」を基に考え、話し合う。 ④巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○自分の長所について考えを深めたり、話し合い活動を通じて、自分の個性を多面的・多角的に考えたりしている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の好きなことは何か、また、よいところはどんなところかなど、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 〔すきなことや よいところを見つかるヒント〕をもとに、さまざまな角度から自分の個性について考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の好きなことやよいところを見つけて、これからもそれを伸ばしていこうと考えている。	図画工作科 キャリア教育
	6月 (3)	【やさしい気持ちで】 B (6) 親切、思いやり 9 どきどきしたけど	どきどきしながらも人に親切にした3人の話などを通して、人に優しくすることはどうして大切なのかを考えさせ、身近な人に温かい心で接し、進んで親切にしようとする心情を育てる。	★人に やさしくすることは、どうして 大切なのでしょう。 ①周りの人に優しくしようかどうか迷ったことはあるか思い起こし、出し合う。 ②「どきどきしたけど」を読み、3本それぞれの話の中で、そうたさん、みおさん、はるきさんは、どうしてどきどきしていたのかを想像し、発表する。 ③そうたさん、みおさん、はるきさんが声をかけることができたのは、どんな気持ちがあったからなのかを考え、話し合う。 ④周りの人に優しくすると、どんな気持ちになるかを考え、話し合う。 ▼周りの人に助けてもらおうと、どんな気持ちになるか想像する。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○身近な人に進んで親切にしようとする心について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 困っている人にどんなふうに接しているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 さまざまな場面や立場を想定して、思いやりのある行動を取るものの大切さや難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 誰かが困っている場面に出会ったときに、どのような気持ちをもって行動していこうかと考えている。	共生 福祉に関する教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
みんなと なかよくする って？	6月 (4)	【しげんに親しむ】 D (18) 自然愛護 10 ダンゴムシの まるちゃん	庭で見つけたダンゴムシを飼おうとする「わたし」と姉の会話などを通して、生き物と仲よくすることについて考えさせ、身近な自然に親しみ、優しい心で接していこうとする実践意欲を育てる。	★生きものと なかよくできているか、考えましょう。 ①生き物を育てたことはあるかを思い出し、出し合う。 ②「ダンゴムシのまるちゃん」を読み、「わたし」はどんなことを考えて、「ゆうえん地みたいな 家がいいな。」と言ったのかを考え、出し合う。 ③「まるちゃん、よろこんでくれると いいな。」と言ったとき、「わたし」はどんなことを思っていたかを想像し、話し合う。 ④自分はどんな生き物と仲よくしたいか、また、その生き物にどんなことをしてあげたいと思うか考え、発表する。 ▼生活科で生き物の世話をしたことを振り返る。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○身近な自然や生き物に優しい心で接していこうとする思いを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の身の回りにある動植物を思い浮かべて、それらとどのように関わっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分の思いだけではなく、動植物を守り、育てていくためには、どのようにすることがよいのかと考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 身近な自然を大切にするためにはどんな心が大切かを考え、これからの自分の生き方に生かそうとしている。	生活科 共生 環境教育	
	適宜	★学びのじゅんぴ★ 小さなころと くらべてみよう D (17) 生命の尊さ 次の「もうすぐ八さい」の学習の準備として、小さな頃と比べて自分が変わってきたなと思うところを思い起こして書き留めておく。					
	7月 (1)	【かわっていくわたし】 D (17) 生命の尊さ 11 もうすぐ八さい	自分の成長に気づいた「わたし」の姿などを通して、生きていくとどんなところが変わっていくのかを考えさせ、生きることの不思議さやすばらしさを感じ、生命を大切にしようとする心情を育てる。	★生きていくと、どんなところが かわっていくでしょう。 ①「生きていく」ってどういうことか考えたことはあるか、出し合う。 ②小さな頃と比べて変わってきたなと思うところを発表する。 ③「もうすぐ八さい」を読み、「八年 生きたら、もっとかわるかな。」と思った「わたし」は、どんな気持ちだったかを考え、話し合う。 ▼生きていくと変わっていくことについて、家の人と話し合う。 ④巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○自分の成長を感じ、命を大切にしていこうということについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 以前に比べ、自分のこんなところが変わってきたなと自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分の成長に気づくだけでなく、これまでの自分の成長を支えてくれた家族の思いにまで考えを広げ、命の大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の変化を通して、生きていくことの不思議さやすばらしさを実感し、命を大切にしようと考えている。		
	7月 (2)	【ありがとうをつたえよう】 B (7) 感謝 12 ありがとうの手紙	身近な人の温かさへの感謝の気持ちを書いた児童の手紙などを通して、「ありがとう」を伝えるとどんな気持ちになるのかを考えさせ、日頃お世話になっている人々に感謝しようとする実践意欲を育てる。	★「ありがとう」をつたえたい人に、「ありがとう」の気持ちを伝えよう。 ①「ありがとう」の気持ちを周りの人に伝えているかを振り返り、発表する。 ②教科書P54・55の「ありがとうの手紙」を読み、この手紙を書いた人は、誰に、どんな気持ちで「ありがとう」を伝えているのかを考え、発表する。 ③自分は、誰に、どんな「ありがとう」の気持ちを伝えたいか考え、話し合う。 ④自分が「ありがとう」を伝えたい人に、「ありがとう」の気持ちを伝える。 ▼「かんがえるヒント」(こんなかつどうで 考えることもできるよ)を適宜、活用する。 ▼「ありがとう」を伝えられた人はどんな気持ちになるかを想像し、出し合う。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○日頃お世話になっている人に、感謝の気持ちを伝えることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 周りの人に対して、感謝の気持ちを伝えているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 児童の手紙を読んだり、友達の考えを聞いたりして、さまざまな人に対する、さまざまな感謝の気持ちがあることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 感謝の気持ちを伝えることの大切さに触れたうえで、これから、感謝の気持ちをどのように伝えていこうかと考えている。	国語科 図画工作科 共生	

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
		○「学習のまとめり」を振り返った評価(4～7月) ここまでで学んだ、【A(3) 節度、節制】【B(8) 礼儀】【C(10) 規則の尊重】【C(14) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A(1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【B(9) 友情、信頼】【A(4) 個性の伸長】【B(6) 親切、思いやり】【D(18) 自然愛護】【D(17) 生命の尊さ】【B(7) 感謝】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びのきろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。				
みんな で 力 を 合 わ せ る っ て ？	適宜	★しつもん じゅんぴ たいそう★ 上手に話し合うための練習として、教科書P58・59の「すすめ方」に即して、グループでテーマを決めて話し合い、これからの学習に生かす。				
	9月 (1)	いじめをゆるさない心 【すごしやすいクラスに】 C(14) よりよい学校生活、 集団生活の充実 13 クラスの 大へんしん	様子が異なる二つのクラスの絵を比較させることなどを通して、過ごしやすいクラスにするには、どのような考えが大切なのかを考えさせ、学校やクラスの生活をみんなで過ごしやすいようにする実践意欲を育てる。	▼友達とどんなふうに過ごしたらよいかを、「クラスの大へんしん」と「やめなさいよ」を通して考えることを確認する。 ★すごしやすいクラスにするためには、どんなことが大切なのでしょう。 ①自分のクラスの好きなところを振り返り、出し合う。 ②「クラスの大へんしん」の「①」の絵の中で、「これでいいのかな。」と思うのはどんなところかを考え、出し合う。 ③「②」の絵の中で、「①」の絵と変わったな。「いいな。」と思うのはどんなところかを考え、話し合う。 ④このクラスは、どんなことに気が付いたから過ごしやすいになったのかを考え、話し合う。 ▼自分のクラスをもっと過ごしやすいするために、どんなことに取り組んでみたいかを考える。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○過ごしやすいクラスにしていくために、大切にしていきたいことを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分のクラスのどんなところが好きか、好きではないかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、過ごしやすいクラスにするために大切なことがたくさんあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 クラスでの生活をよりよくするために、どのような気持ちを大切にすればよいかを考えている。	特別活動(学級活動) いじめ問題 共生
	9月 (2)	【よくないと思うことは】 A(1) 善悪の判断、自律、 自由と責任 14 やめなさいよ	けんじの行為を正す「わたし」の姿などを通して、よくないと思うことを見たらどうすればいいのかを考えさせ、よしあしを区別し、よいと思うことを進んで行おうとする判断力を育てる。	★よくないと思うことを見たら、どうすればいいでしょう。 ①よくないと思ったことを注意したことはあるか振り返り、出し合う。 ②「やめなさいよ」を読み、「わたし」はどうして胸がどきどきしたのかを考え、発表する。 ③けんじくんに「やめなさいよ。」と言ったとき、「わたし」はどんなことを考えていたか想像し、話し合う。 ④したほうがいいと思ったことをすると、どんな気持ちになるか考え、発表する。 ▼教科書P67のコラム「いやな気もちかも しれないよ」を読み、みんなの気持ちを大切にすることについて考える。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○よいこととよくないことを区別し、よいことを進んで実行することの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 正しいと思うことを勇気をもって行っているか、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 よくないと思うことを指摘する難しさや、勇気をもってできたときの気持ちよさの両面から、自分が正しいと思うことを行うよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 善悪を判断し、正しいことを行うために、現在の自分自身を振り返って、自分はこれからどうしていきたいかについて考えている。	いじめ問題
	適宜	★コラム★ <いじめをゆるさない心> いやな気もちかも しれないよ A(1) 善悪の判断、自律、自由と責任／C(14) よりよい学校生活、集団生活の充実				いじめ問題 共生

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんなで 力を合わせるって？	9月 (3)	【自分たちとちがっても】 C (11) 公正、公平、社会正義 15 およげない りすさん	りすの思いに気づき、いっしょに遊ぼうと考えた白鳥、あひる、かめの姿などを通して、誰とでも仲よくすることの大切さを考えさせ、違いや好き嫌いにとらわれず、誰に対しても公正、公平に接していこうとする心情を育てる。	★自分と ちがうところがあっても なかよくすることの大切さについて、考えましょう。 ①自分は誰とでも仲よくできているかを振り返り、発表する。 ②「およげないりすさん」を読んで、島で遊んでいてもちっとも楽しくない3匹は、どんな話をしたかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書P72の「かんがえるヒント」(えんじてかんがえよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ③りすさんもいっしょに島へ行くとき、3匹はどんなことを思ったかを考え、話し合う。 ④巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○違いや好き嫌いにとらわれず、誰に対しても公正、公平に接する大切さを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 誰に対しても公平に接するよさに対するイメージを自分なりに考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の立場から、互いの違いを受け入れ、公平に接するよさについて考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 それぞれの違いを尊重して、誰にでも公平に接していくためには、これからどうしていけばよいかと考えている。	いじめ問題 共生
	9月 (4)	【すなおな心で】 A (2) 正直、誠実 16 お月さまとコロ	友達に謝ることができずに悩むコロとお月様との会話などを通して、素直な心で過ごすとうんないいことがあるかを考えさせ、素直な心で伸び伸びと生活しようとする心情を育てる。	★すなおな心で すぐすと、どんないいことが あるでしょう。 ①謝りたいのに謝れなかったことがあるかを振り返り、出し合う。 ②「お月さまとコロ」を読み、コロは謝りに行けない自分のことを、どうして嫌になったのかを考え、発表する。 ③「ギロくんにあやまろう。」「みんなとも なかよく あそぼう。」と決めたとき、コロはどんな気持ちだったかを考え、話し合う。 ④今までに素直になれてよかったと思ったときはあるか、また、それはどんなときか思い出し、発表する。 ▼友達が素直に謝ってくれたら、どんな気持ちになるかを想像する。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○素直な心で伸び伸びと生活しようとする心について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 素直になりたいのになれなかった経験について、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の立場に立ったり、友達の考えを聞いたりして、素直な心でいることのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 伸び伸びと生活していくためにはどんなことが大切かを考え、これからの自分の生活に生かそうとしている。	
	10月 (1)	【みんなでつかう ものだから】 C (10) 規則の尊重 17 黄色いベンチ	公園のベンチに土足で立って遊んだ二人が、女の子の衣服が汚れてはっとする姿などを通して、公共の物を使う際に大切なことを考えさせ、みんなが使う物を大切にしようとする実践意欲を育てる。	★みんなでつかうものを つかうときに 大切なことは、何でしょう。 ①みんなでする物にはどんなものがあるかを思い起こし、出し合う。 ②「黄色いベンチ」を読み、たかしとてつおはどんな気持ちでベンチに上ったのかを考え、発表する。 ③「はっ。」として、顔を見合わせたたかしとてつおは、どんなことを考えたかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書P72の「かんがえるヒント」(えんじてかんがえよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ④みんなでする物を使うときは、どんなことに気をつければよいかを考え、話し合う。 ▼自分の学校では、みんなでする物を使うとき、どんなきまりがあるかを思い起こす。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○公共の物を使うときに大切なことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 身の回りにある公共の物を大切に使用しているかと、自分の生活を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 公共の物を使うときには、どんなことに気をつけるのか、また、気をつけないとどうなるのかについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 公共の物を使うときに気をつけることについて考え、自分の生活に生かそうとしている。	法教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的活动は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
みんなで 力を 合わせる って？	10月 (2)	【自分が しなければいけないこと】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 18 ぼくは まけない	「へこたれ虫」に負けずに宿題をする「ぼく」の姿などを通して、すべきことをするためには、どんな気持ちが必要かを考えさせ、自分のすべき勉強や仕事をしっかりと行おうとする心情を育てる。	★しなければいけないことを しっかりとするためには、どんな気持ちが必要でしょう。 ①自分の「しなければいけないこと」はどんなことか考え、出し合う。 ②「ぼくは まけない」を読み、ため息が出てきたとき、「ぼく」はどんなことを考えていたか想像し、発表する。 ③「ぼく」はどんな気持ちで「ぼくは、まけないよ。」と言ったのか考え、話し合う。 ④しなければいけないことをがんばってやり終えたことはあるか、また、それはどんなことか振り返り、出し合う。 ▼「へこたれ虫」が出てきたら追い払うことはできるか考える。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○自分がすべき勉強や仕事をしっかりと行おうとする心について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 すべきことにどのように取り組んでいるか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物や友達の考えをもとに、すべきことを行うときに大切な考えはどのようなことかを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これから、自分のすべきことをするときには、誘惑に負けることなく、しっかりと行っていこうと考えている。		
	適宜	★なんだろう なんだろう★ じぶんらしい「たのしい」って、なんだろう。 関連する内容項目 A (4) 個性の伸長 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志／B (9) 友情、信頼／C (11) 公正、公平、社会正義 家庭学習や朝の読書活動の時間などを活用して、「なんだろう なんだろう」を読み、自分にとっての「楽しい」とは何なのか、考えてみる。					
	○「前期」を振り返った評価(4～10月2週目) ここまでで学んだ、【A (3) 節度、節制】【B (8) 礼儀】【C (10) 規則の尊重】【C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【B (9) 友情、信頼】【A (4) 個性の伸長】【B (6) 親切、思いやり】【D (18) 自然愛護】【D (17) 生命の尊さ】【B (7) 感謝】【C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C (11) 公正、公平、社会正義】【A (2) 正直、誠実】【C (10) 規則の尊重】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びのきろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						
	10月 (3)	【自分をすきになる】 A (4) 個性の伸長 19 どうして うまく いかないのかな	何をやってもうまくいかずに悩む「わたし」が、自分のよさに気づく姿などを通して、自分を好きになると、どんな気持ちになるかを考えさせ、自分の特徴に気づき、そのよさを大事にしようとする心情を育てる。	★自分を すきになると、どんな気持ちに なるでしょう。 ①何かをして、うまくいかないなと思ったことがあるかを振り返り、出し合う。 ②「どうして うまくいかないのかな」を読み、自分のすることがうまくいかないとき、「わたし」はどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ③「わたし」は、どうして自分のことが前よりも好きになってきたのかを想像し、話し合う。 ④自分のどんなところが好きか、友達と教え合う。 ▼「かんがえるヒント」(こんなかつどうで 考えることもできるよ)を適宜、活用する。 ▼自分の好きなどころ探しを、これからも続けるよう促す。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○自分の特徴に気づき、よさを大事にしようとする思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分のよさや、自分ががんばっていることについて、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の姿や友達の考えをもとに、自分を好きになると、どんな気持ちになるかについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分のよさを見つけたら伸ばしたりするには、どんな気持ちが必要かを考えている。	特別活動(学級活動) キャリア教育	

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんなで 力を合わせるって？	10月 (4)	【はたらくことのよさ】 C (12) 勤労、公共の精神 20 おでこのあせ	しかたなく参加した町のごみ拾いに、徐々にやりがいを感じて働く「あつし」の姿などを通して、働くことのよさを考えさせ、みんなのために働くとする心情を育てる。	★はたらくことのよさは、何でしょう。 ①家や学校で、どんな仕事をしているかを振り返り、出し合う。 ②「おでこのあせ」を読み、お父さんのごみ拾いの様子を見つめながら、あつしはどんなことを考えていたかを想像し、出し合う。 ③「ようし、学校まで もう少しだ。がんばろう。」と言ったとき、あつしはどんな思いだったかを考え、話し合う。 ④一生懸命働いたことがあるか、また、そのときどんな気持ちになったかを振り返り、発表する。 ▼今日考えた働くことのよさを、家の人に教える。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○働くことは、周りの人の役に立ち、自分も成長ができることであるということについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の仕事にどんな姿勢で取り組んでいるか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物や友達の考えをもとに、一生懸命働くとはどんな気持ちになるかについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これから仕事に取り組むときに、どんなことを心がけていきたいかを考えている。	社会参画に関する教育
	11月 (1)	【だれにたいしても】 C (11) 公正、公平、社会正義 21 雨ふり	仲よしの友達だけを傘に入れようとして断られ、はっとした「ふみお」の気づきなどを通して、誰にでも同じように接する気持ちが必要な訳を考えさせ、好き嫌いにとらわれず、公正、公平に接しようとする心情を育てる。	★だれにたいしても、同じように 何かをする気もちを もつことは、どうして大切なのでしょう。 ①雨のとき、傘に入れてもらった経験があるかを振り返り、出し合う。 ②「雨ふり」を読み、「入れて。」と言われたとき、ふみおさんはどんなことを考えたか想像し、発表する。 ③ふみおさんは、はっとしたとき、どんなことに気がついたかを考え、話し合う。 ④これから周りの人にどんな気持ちをもっていたいかを考え、発表する。 ▼もう一度、ふみおさんが二人に「ふみおくん、入れて。」と言われたら何と答えるか、今日学んだことを生かして演じて考え、話し合う。 ▼教科書 P72 の「かんがえるヒント」(えんじてかんがえよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ▼「かんがえるヒント」(どうとくでつかうことば)を読み、発表や話し合いの場面で活用する。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○好き嫌いにとらわれず、公正、公平に接するために大切な気持ちについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 誰に対しても好き嫌いにとらわれずに接しているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 誰に対しても態度を変えることなく接することの大切さや難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 誰に対しても同じように接するためには、どんな気持ちを大切にしていこうかと考えている。	いじめ問題 共生
	11月 (2)	【あいでも自分も 気もちよく】 B (8) 礼儀 22 なかよしだけど	遊びに来た友達の行為を「何か、へんだな。」と思う「ぼく」の姿などを通して、相手も自分も気持ちよく過ごすために大切なことを考えさせ、自他ともに気持ちよく過ごすことのできる挨拶や振る舞いをしようとする実践意欲を育てる。	★あいでも自分も 気もちよく 過ごすために 大切なのは、どんなことでしょう。 ①友達の家遊びに行ったら、初めに何と何と言うかを振り返り、出し合う。 ②「なかよしだけど」を読み、「ぼく」は、友達のどんなところを「何か、へんだな。」と思ったのかを考え、発表する。 ③「ぼく」の家遊びに来た友達は、どうすればよかったのかを考え、話し合う。 ④巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○自他ともに気持ちよく過ごすことのできる礼儀について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまで、相手も自分も気持ちのよい挨拶や振る舞いをしていたかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 さまざまな場面を想定して、どうすれば相手も自分も気持ちよく過ごせるかについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 相手も自分も気持ちよく過ごすために、どのような挨拶や振る舞いをしていこうかと考えている。	社会参画に関する教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんな 力を合わせるって？	11月 (3)	【あいてを思いやって】 B (6) 親切、思いやり 23 くりの み	相手のことを思いやり、くりの実を分けてあげようとするうさぎの優しい姿などを通して、困っている人のためにどんなことができるか、思いやりの大切さを考えさせ、相手と親しくしようとする心を育てる。	★こまっている人のために、どんなことができるか、思いやりの大切さを考えさせ、相手と親しくしようとする心を育てる。 ①誰かに優しくされたとき、どんな気持ちになったかを振り返り、出し合う。 ②「くりの み」を読み、きつねは、どんな気持ちで「だめ、だめ。何にも 見つかりませんでした。」と言ったのかを考え、発表する。 ③「しばらく考えていた」うさぎは、どんなことを考えていたのか想像し、話し合う。 ④自分もうさぎのように、誰かに優しくできたことがあるか、また、それはどんなときか考え、発表する。 ▼もう一度、きつねがうさぎに「きつねさん、どうでしたか。」ときかれたら何と答えるか、今日学んだことを生かして、演じて考え、話し合う。 ▼教科書 P72 の「かんがえるヒント」(えんじてかんがえよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○相手の思いやり、親切にしようとする心や行動のすばらしさや難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 困っている人に思いやりをもって接しているか、身近な人に親切にされたとき、どんな気持ちになるかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の立場から、相手のことを思いやることのよさや難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 困っている人に対して、どんなときでも思いやりをもって接するためには、どんな心があればよいかを考えている。	共生
	11月 (4)	【生きていることのすごさ】 D (17) 生命の尊さ 24 ぼくの かさぶた	傷が治ったことから、体は毎日新しくなることを知り、生きていることのすばらしさを実感した「りつ」の姿などを通して、生きていることの不思議やすごさを見つめさせ、生命を大切にしようとする心を育てる。	★生きていることの すごさを 見つめよう。 ①けがをしてかさぶたができたことはあるか振り返り、出し合う。 ②「ぼくの かさぶた」を読み、膝がきれいに治ったとき、りつさんはどんなことを思ったか考え、発表する。 ③自分の体を見つめながら、りつさんはどんなことを考えたか想像し、話し合う。 ④「生きているって、すごいな。」と思うことを見つけて、友達に紹介する。 ▼自分の体にどんな言葉をかけたいか考える。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○生きていることの不思議さやすごさを見つめ、命を大切にすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 生きていることのすばらしさを、自分の生活を振り返って考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 「りつ」の考えや保健の先生の話などをもとに、命の不思議さやすばらしさなど、生きていることのさまざまな側面について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからも生きていることのすばらしさについて考え、命を大切にしていこうと考えている。	健康教育
	適宜	★かんじょう いのち★ D (17) 生命の尊さ 身の回りにある物を触って、いろいろなことを感じるのは生きているからこそであることを実感し、生きているすばらしさを感じ取る。	★かんじょう いのち★ どんなかんじが するかな。			
	12月 (1)	【かぞくの一人として】 C (13) 家族愛、家庭生活の充実 25 もうすぐお正月	祖母の荷物を持つ「めぐみ」を見て、大掃除の手伝いを始めた「しんじ」の姿などを通して、家族の一人として、どんな気持ちで過ごすことが大切なのかを考えさせ、家族を敬愛し、進んで役に立とうとする心を育てる。	★かぞくの一人として、どんな気持ちで すごすことが 大切なのでしょう。 ①「もうすぐお正月」を読み、めぐみをじっと見ていたしんじはどんなことを考えていたかを想像し、発表する。 ②おじいちゃんとおばあちゃんの笑顔を見て、しんじはどんなことを思ったか考え、話し合う。 ③家族の一人として、どんな気持ちを大切にしたいかを考え、発表する。 ▼正月の前にできそうな手伝いがあるか考える。 ④巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○家族の一員として、進んで役に立とうとする気持ちについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまで家族の一員として、どんなことができていたかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の姿や友達の考えをもとに、家族の一員としてどんな気持ちでいることが大切かと、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 家族の一員として、これからどんな気持ちで家族と接していこうかと考えている。	図書館活用 伝統文化教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんなで 力を合わせるって？	12月 (2)	【みんなのために】 C(12) 勤労、公共の精神 26 黒ばんが にっこりするかな	黒板係の仕事に一生懸命に取り組む「ぼく」の姿などを通して、みんなのために働くこととどんな気持ちになるのかを考えさせ、働くことのよさを知り、みんなのために働こうとする心情を育てる。	★みんなのために はたらくと、どんな気持ちに なるでしょう。 ①自分のクラスには、どんな係があるかを確認する。 ②「黒ばんが にっこりするかな」を読み、「ぼく」は黒板係の仕事のどんなところを「たいへんだ。」と思っているか考え、出し合う。 ③先生やみんながにこにこ笑ってくれたとき、「ぼく」はどんな気持ちだったか想像し、話し合う。 ④自分は係の仕事にどんな気持ちで取り組んでいるか振り返り、発表する。 ▼誰かに褒められなくても自分の仕事をがんばれるか考える。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○みんなのために働くことのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 日常生活の中で、みんなのために、自分はどのような気持ちで、どんな仕事をしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 みんなのために働いたときのやりがいや大変さなどのさまざまな面から、みんなのために働くことについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の仕事をしっかりと行うためにどんな気持ちが必要かについて考え、自分の生活に生かそうとしている。	特別活動(学級活動) 社会参画に関する教育
	12月 (3)	【うつくしいと かんじるもの】 D(19) 感動、畏敬の念 27 きらきら	雪の結晶の写真と詩などを通して、身の回りの自然の美しさなどについて考えさせ、美しいものや清らかなものに触れて生まれる素直な感動やすがすがしい心を大切にしようとする心情を育てる。	★みの回りに あるものの うつくしさについて、考えましょう。 ①教科書P118の写真が何なのか確認する。 ②「きらきら」を読んだり雪の結晶の写真を見たりして、どんなことを思ったかを出し合う。 ③自分が「ふしぎだな」「きれいだな。」と思うものはどんなものかを思い起こし、話し合う。 ▼家の人にどんなものを「ふしぎだな」「きれいだな。」と思うかをきく。 ④巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○身近な美しいものに気づき、素直に感動する心やすがすがしい気持ちになる心を大切にしようと考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分がどんなものに不思議さや美しさを感じているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、不思議さや美しさを感じるものは、人によってさまざまであることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 身の回りの不思議さや美しさを感じ取る心を大切にしていこうと考えている。	生活科 図書館活用
	○「学習のまとめり」を振り返った評価(9～12月) ここまで学んだ、【C(14) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A(1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C(11) 公正、公平、社会正義】【A(2) 正直、誠実】【C(10) 規則の尊重】【A(5) 希望と勇気、努力と強い意志】【A(4) 個性の伸長】【C(12) 勤労、公共の精神】【C(11) 公正、公平、社会正義】【B(8) 礼儀】【B(6) 親切、思いやり】【D(17) 生命の尊さ】【C(13) 家族愛、家庭生活の充実】【C(12) 勤労、公共の精神】【D(19) 感動、畏敬の念】に関わって、児童が成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びのきろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。					
自分を 見つめるって？	適宜	★学びのじゅんぴ★ お金をつかったことは、あるかな A(3) 節度、節制 次の「お年玉を もらったけれど」の学習の準備として、自分でお金を払って何かを買ったことがあるか、また、自分で使えるお金があったら何に使いたいかを考えておく。				
	1月 (2)	【よく考えて】 A(3) 節度、節制 28 お年玉を もらったけれど	お年玉を使いすぎ、欲しかったものが買えなくなった「りょうた」の姿などを通して、生活の中で気をつけなければならないことについて考えさせ、物や金銭を大切にし、よく考えて生活しようとする判断力を育てる。	★生活の中で、気をつけなければ ならないことについて、考えましょう。 ①「お年玉」についての経験を思い起こし、出し合う。 ②「お年玉を もらったけれど」を読み、りょうたはどうしてカードを何枚も買ってしまったのか考え、発表する。 ③駄菓子屋でのことを思い出しながら、りょうたはどんなことを考えたかを想像し、話し合う。 ④お金を使うときには、どんなことに気をつければよいかを考え、話し合う。 ▼自分の持っているものを大切に使っているかを考える。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○物や金銭を大切に、よく考えて生活していこうと考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段の自分の金銭の使い方について振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、金銭を使うときには、自分の欲や計画性など、さまざまな観点で立ち止まる必要があることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからの生活の中で、金銭を大切に使うためには、どんな気持ちが必要かについて考えている。	消費者教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分を見つめるって？	1月 (3)	【日本のぶんか】 C (15) 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度 2 9 おせちのひみつ	おせち料理に込められた意味を知ることなどを通して、昔から伝わるものや料理に込められた思いについて考えさせ、我が国や郷土の伝統や文化に親しみ、愛着をもとうとする実践意欲を育てる。	★むかしからつたわる ものやりようについて、考えましよう。 ①日本でできた料理にはどんなものがあるか考え、出し合う。 ②P132・133 のおせちの中で、食べたことのあるものはあるか思い起こし、出し合う。 ③「おせちのひみつ」を知って、どんなことを考えたかを話し合う。 ④おせち料理のように願いが込められた日本の物や料理について、知っていることを出し合う。 ▼本を読んで、日本の年中行事について調べる。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○日本の伝統や文化を知り、それに親しんだり、愛着をもったりすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 昔から日本に伝わるものについて、自分はどんなことを知っているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 昔から日本に伝わるものには、さまざまな願いが込められていることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 日本の伝統的な文化や生活のよさを感じ、もっと知りたい、関わりたいと考えている。	図書館活用 食育 伝統文化教育
	1月 (4)	【せかいのことを 知ろう】 C (16) 国際理解、国際親善 3 0 日本のお米、 せかいのお米	おにぎりのおいしさから米に興味をもち、世界の米料理を調べる「わたし」の姿などを通して、他国で作られたものや、他国から伝わってきたものを知り、他国の文化や伝統に興味をもち親しもうとする実践意欲を育てる。	★ほかの国で 作られたものや、ほかの国から つたわったことを 知りましよう。 ①他の国の料理で知っているものがあるかを振り返り、出し合う。 ②「日本のお米、せかいのお米」を読み、お米が他の国から伝わってきたことを知った「わたし」は、どんなことを思ったかを考え、発表する。 ③P136・137 の世界のお米を使った料理の写真を見て、どんなことを思ったかを話し合う。 ④他の国のことで知っていることはあるか、また、それはどんなことかを発表する。 ▼給食のお米を使った料理で、どんなものを食べたことがあるかを振り返る。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○他国で作られたものや、伝わってきたものがあることに気づき、それらに興味・関心をもって、他国の文化に親しむことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 他国のものや他国のことについて、自分はどんなことを知っているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、他国に対する興味や関心を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 他国のことについて知ることのおもしろさに気づき、他国に対する興味や関心をもち続けようとしている。	共生 国際理解教育 食育
	2月 (1)	【みんながささえあいのち】 D (17) 生命の尊さ 3 1 空色の自転車	車にはねられ、生死をさまよう「かんた」や、彼を見守り励ます家族や先生の懸命な姿などを通して、命はどうして大切なかを考えさせ、かけがえのない生命を大切にしようとする心情を育てる。	★いのちは、どうして 大切なのでしょうか。 ①毎日楽しく過ごせることのすばらしさについて考えたことはあるかを確認する。 ②「空色の自転車」を読み、お父さんやお母さんはどんな気持ちでかんたの世話をしたのかを考え、発表する。 ③足を動かす訓練をしながら、かんたはどんなことを考えていたかを想像し、話し合う。 ④自分の命について、どんなことを考えたかを話し合う。 ▼「11 もうすぐ八さい」と「24 ぼくの かさぶた」で、命について考えたことを振り返る。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○かけがえのない命の大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 毎日楽しく過ごすことについて、自分はどんなことを考えているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分の命を失いかけた立場や、命を見守る立場などから、命はどうして大切なのかについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 生きることのすばらしさに気づき、周りの人に支えられているかけがえのない命を大切にしていこうと考えている。	安全教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分を見つめるって？	2月 (2)	【正直でいられたら】 A (2) 正直、誠実 3 2 すてきなえがお	バスの中で他人の足を踏み、迷いながらも謝った「わたし」の姿などを通して、正直に謝るとどんな気持ちになるのかを考えさせ、うそやごまかしをせず、素直に伸び伸びと生活しようとする心情を育てる。	★正直にあやまることができると、どんな気持ちになるでしょう。 ①正直に言うかどうか迷ったことはあるか思い起こし、出し合う。 ②「すてきなえがお」を読み、「どうしよう。」と思ったときの「わたし」の心の中には、どんな気持ちがあったかを考え、発表する。 ③「わたし」が今でも、おぼさんのすてきな笑顔を忘れることができないのはどうしてかを考え、話し合う。 ④正直に謝るかどうかを迷ったときは、どんなことを考えればよいと思うかを発表する。 ▼いつでも正直でいることができるか、本を読んで考える。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○うそやごまかしをせず、素直に伸び伸びと生活することのすばらしさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 過ちに気づいたときに、自分はどのようにしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 正直に謝ることの大切さや気持ちよさ、難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の過ちに気づいたら、どんな気持ちを大切に、どう行動していこうかと考えている。	図書館活用 法教育
	2月 (3)	【ありがとうと思える心】 B (7) 感謝 3 3 ありがとうの絵	叱られたことを「ありがとう」と思う父の話を聞き、その意味を考える「ぼく」の姿などを通して、「ありがとう」と思える心について考えさせ、日頃世話になっている人々の善意に気づき、感謝しようとする心情を育てる。	★ありがとうと思える心について、考えましょう。 ①「ありがとう」を言うのはどんなときかを考え、出し合う。 ②「ありがとうの絵」を読み、もやもやした気持ちで家に帰った「ぼく」はどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ③心の中のもやもやが晴れた「ぼく」はどんなことに気づいたかを考え、話し合う。 ④誰かに注意されたとき、相手はどんな気持ちで注意してくれたのだと思うかを発表する。 ▼誰かに注意されたときに「ありがとう。」と言ったら、どんな気持ちになるかを想像する。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○自分を思って注意をしてくれている周囲の人などの存在に気づき、感謝の心をもつことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 どんなことに対して感謝の気持ちをもっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 何かをしてもらったときに限らず、相手に対して感謝の気持ちをもつべき場面が、日常生活の中にたくさんあることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 感謝の気持ちをもって生活していくためには何が必要かを考え、自分の生活に生かそうとしている。	図画工作科 共生
	3月 (1)	【友だちっていいな】 B (9) 友情、信頼 3 4 ぶらんこ	横取りしたぶらんこの綱が切れて泣くくまと、くまを慰めながら丈夫なぶらんこを作ろうとする動物たちの交流などを通して、友達と仲よくすることについて考えさせ、友達の気持ちを考え、仲よく助け合おうとする心情を育てる。	★友だちと仲よくすることについて考えましょう。 ①今日、友達とどんなことをしたかを振り返り、出し合う。 ②「ぶらんこ」を読み、ぶらんこを独り占めしたくまさんを見て、おさるさん、うさぎさん、りすさんは、どんなことを思ったかを考え、出し合う。 ③おさるさんはどうして、「もっとじょうぶなぶらんこを作ろう。」と言ったのかを考え、話し合う。 ④友達がいて「うれしいな。」「よかったな。」と思うのはどんなときかを振り返り、話し合う。 ▼友達と助け合った経験があるか、また、どんなことをしたのかを思い起こす。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○友達の気持ちを考えて、友達と仲よく助け合おうとする心について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 友達と仲よく過ごせた経験を思い出している。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 クラスで共有された多様な意見をもとに、「友達と仲よく助け合おうとする心」に対する考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 友達と仲よく助け合っていくために、どんなことを大切にしていこうかと考えている。	いじめ問題 共生

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
自分を見つめるって？	3月 (2)	【あきらめないで】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 3 5 こうさとびができた	なかなかできない交差跳びに懸命に取り組む「わたし」の姿などを通して、諦めずにやり抜くとどんな気持ちになるのかを考えさせ、自分のやるべきことをやり遂げるために力を尽くそうとする心情を育てる。	★あきらめないで やりぬくと、どんな気持ちになるでしょう。 ①何かを諦めそうになったことはあるか振り返り、出し合う。 ②「こうさとびができた」を読み、「わたし」はどんなことを考えながら、家でも縄跳びの練習をしていたかを想像し、発表する。 ③「やった。」と心の中で叫んだ「わたし」は、どんなことを思っていたかを想像し、話し合う。 ④諦めずにがんばったことはあるか、また、それをやり抜いたとき、どんな気持ちだったかを思い起こし、発表する。 ▼3年生になったら、どんなことをがんばりたいかを考える。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○やるべきことをやり遂げようと、力を尽くそうとする心について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 やるべきことをがんばった経験やそのときの気持ち、また、これからがんばりたいことなどについて、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 がんばることの大変さや、やり抜いたときの達成感などのさまざまな面から、くじけずにがんばることの意味について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分のやるべきことをがんばっていくためには、どんな気持ちをもっていればよいかを考えている。	体育科 特別活動(学校行事)	
	○「学習のまとめり」を振り返った評価(1～3月)						
	ここまでで学んだ、【A (3) 節度、節制】【C (15) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【C (16) 国際理解、国際親善】【D (17) 生命の尊さ】【A (2) 正直、誠実】【B (7) 感謝】【B (9) 友情、信頼】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びのきろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						
○「後期」を振り返った評価(10月3週目～3月)							
ここまでで学んだ【A (4) 個性の伸長】【C (12) 勤労、公共の精神】【C (11) 公正、公平、社会正義】【B (8) 礼儀】【B (6) 親切、思いやり】【D (17) 生命の尊さ】【C (13) 家族愛、家庭生活の充実】【C (12) 勤労、公共の精神】【D (19) 感動、畏敬の念】【A (3) 節度、節制】【C (15) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【C (16) 国際理解、国際親善】【D (17) 生命の尊さ】【A (2) 正直、誠実】【B (7) 感謝】【B (9) 友情、信頼】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びのきろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。							